



学校だより 神橋

令和3年5月31日
横浜市立神橋小学校
6月号



「運動会へのご協力、ありがとうございました」 ～子どもの姿を見て感じたこと～

副校長 野村賢司

朝晩は肌寒さを感じ、日中は汗ばむ季節となりました。また、梅雨の走りのような天気も増え春から夏への季節の変わり目を感じます。

さて、先日の「神橋ふれあい運動会」も感染症対策と熱中症対策を実施する中で、子どもたちも職員も「心をひとつに思い出に残る楽しい運動会をつくろう！」のスローガンのもと全力で取り組む事ができたと思います。

朝、開会式に向かう子どもたちの顔を見たときに「今日は、自分の今の力を出し切って、精一杯がんばるぞ。」という意欲がどの子の顔にもみなぎったことを私は感じました。

運動会当日、本当にたくさんの感動をくれた子どもたち。子どもたちは、何のためにこれだけ懸命に走り、演技をするのでしょうか。もちろん、そのために教師は、様々な声かけや指導をし、時には叱咤激励をします。ご家庭でも様々な励ましをされたことと思います。でも、子どもたちの頑張りは、決してそれらに応えようとするためではなく、ましてや私が「一生懸命はかっこいい」と伝えたからではありません。きっと、子どもたちの中には、皆「一生懸命に取り組む力」が内包されているのだと思うのです。大人になるにつれて、私たちは自分を知り周りからの目を意識するようになり、加減するようになっていく気がします。子どもは、常に全力なのだと思うのです。それは、時に、私たちが襟を正して見習うべきところなのかも知れません。

そして、今後もいろいろな活動の中で、子どもたちがもっている内なるこの素晴らしい力を、学校、地域、保護者の方々、それぞれの立場で最大限引き出せるよう、これからも手を携えていけたらと思います。よろしく願いいたします。

最後に、昨年と同様に参観の規制やご不便のある中、多大なるご協力いただきましたPTA役員、神橋キャストをはじめとする保護者の皆様、温かく見守ってくださった地域・見守り隊の皆様方のお力添えがあってこそその運動会でした。本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

